



加藤 元の



と暮らして
みませんか

43

前回に続き、猫の目の病気の見つけ方を紹介しましょう。

普段は変わらないのに、左右の目の様子が異なっている 左右の瞳の色（虹彩）が異なっている 左右の瞳の大きさが異なっている 目ヤニが出ている 涙があふれ出て、目頭の毛が茶色になっている 目を開くことすらできないで、目をこする 白目が赤くなり、腫れている 昼間、瞳が白く見えたり、赤や青に見えたりする 黒目が灰色や白色に濁ってみえる 必要以上にまぶしがる まぶたに触れられるのを嫌がる 歩きながら、ものにぶつかる 瞳が小さいままになっている 瞳が大きく開いたままになっている。

これらの症状が一つでもみられたら、早速、病院でみてもらいま

目の異常

タウリン含んだ食事を

しよう。何よりも大切なことは、早期の検査による正確な診断と、合理的で正しい治療です。

治療や看護の大切な点をあげておきますと、目を清潔にする エリザベスカラー（回復促進用の首輪）、コルセットなどを使って、猫が目に触れないように保護する 治療薬は確実に指導を守り、使用する などです。

猫の目に欠くことのできない栄養素は、タウリン（アミノ酸の一種）です。猫にタウリンが欠けた食事を与え続けると、網膜萎縮症を起こして失明します。猫は他の動物と異なり、自分の体の中でタウリンを合成することができないからです。

つまり、猫は食事に含まれているタウリンを摂取することで視力を保っているのです。また、タウリンは心臓の病気や拡大型の心筋症を防ぐ意味でも重要な栄養素といえます。

素晴らしく進歩した猫の栄養学に基づき、サイエンスダイエットなどの良質のキャットフードには、このタウリンをはじめ、猫の必要とするすべての栄養素が含まれているので、その大切さが分かると思います。

（ダクタリ動物病院広尾病院院長、日本ヒューマン・アニマル・ボンド・ソサエティ会長）

《産経新聞2005年2月13日掲載》